

令和6年度事業 川内すわこども園 SECOND 自己評価・学校関係評価結果公表

学校評価委員会日時：令和 7年 3月 5日（水）17：30～
場所：川内すわこども園 SECOND tetote カフェ

【学校評価委員会検討事項】

- ・自己評価の結果の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・重点的に取り組むことが必要な目標や計画、評価項目等が適切かどうか
- ・こども園運営の改善に向けた取組が適切かどうか

1、 重点項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
保育者としての資質や能力・良識・適性	ICTの積極的活用、LINEによる報告・連絡・相談の徹底・ホワイトボード、掲示板、記録の活用による伝達漏れ防止
地域の自然や社会とのかかわり	環境教育を通じて、室内外の保育環境と地域の自然への関心を育成
保育の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	内部・外部研修の充実・日常保育の中での研修的学びへの意識の高まり
地域における子育て支援	子育て支援事業を継続実施・来園者に安心感を与える温かい雰囲気づくり

2、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none">・保育目標・方針をわかりやすく伝えている・他園にない独自の活動に取り組んでいる・家庭との連携が適切である・子どもにとって楽しい園である・教育・保育方針への共感が得られている・子どもが生き生きと過ごしている・行事は活発で、子ども主体である・豊かな心を育てる取組をしている・社会性やモラルを育てている・人権尊重を大切にしている・保育時間が確保されている・運営方針や事故防止、プライバシー保護、保護者対応なども適切である
--

2、 園としての改善点

評価項目	改善点・具体的取組
保育の在り方・3歳以上児	・行事と日常保育の結びつきを強化・デイリープログラムを随時見直し
保護者対応・守秘義務	・記録事項・保存期間の明確化に取り組む
保育の専門性・研修	・自己課題をもって研修に臨む・ICTの見直しと業務効率化、子どもの興味関心拡大
保育の在り方・3歳未満児	・個別的対応の充実・担当制保育のさらなる強化

4. 令和7年度に向けた重点課題

- 遊びの環境のさらなる充実
- ICTの活用による保育の質向上
- 小学校との接続（就学前教育の充実）
- アクティブラーニング・プロジェクト活動の推進
- 保護者会との交流・懇親の機会づくり

5. まとめ

川内すわこども園 SECOND では、自己評価・学校評価を通して、子どもにとって「楽しく安心できる園」であり続けるとともに、地域や家庭と協働しながら、ICTの活用や小学校との接続など、これからの時代に必要な教育・保育を推進してまいります。

令和6年度 幼保連携型認定こども園 川内すわこども園 SECOND

学校評価委員会 会次第

日時：令和7年 3月 5日（水）17：30～

場所：tetote カフェ

はじめに

1.学校評価について

- ・保育の自己評価について
- ・年間行事について
- ・職員研修について
- ・保育参加について
- ・保護者アンケートの結果について
- ・来年度の教育・保育に向けて

2. 令和6年度保護者会からの卒園記念品について

3. 令和6年度保護者会決算について

4. 令和7年度予算について

5. 令和7年度保護者会役員について



A group of children are playing on a red and yellow slide in a sunny outdoor setting. One child in a yellow hat is at the top of the slide, while others are further down.

本日の内容は・・・

はじめに

1. 学校評価について
 - ・ 保育の自己評価について
 - ・ 年間行事について
 - ・ 職員研修について
 - ・ 保育参加について
 - ・ 保護者アンケートの結果について
 - ・ 来年度の教育・保育に向けて
2. 令和6年度保護者会からの記念品について
3. 令和6年度保護者会決算
4. 令和7年度予算について
5. 令和7年度保護者会役員について

1. 川内すわこども園SECOND
における学校関係者評価ガイドライン

introduction

A wide shot of a large sandpit area where several children in blue uniforms are playing. There are some plants and a small structure in the background.

2. 学校関係者評価とは

目的) 学校関係者評価は、自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、川内すわこども園SECOND・家庭・地域がこども園の現状と課題について、共通理解を深めて相互の連携を促し、**園運営の改善**への協力を促進することを目的として行うものである。

A group of children wearing blue uniforms and orange hats are standing in a line outdoors.

A group of children are standing together, holding up a large, clear sheet of paper or a banner.

2. 保育の自己評価について

A wide shot of a large sandpit area where several children in blue uniforms are playing. There are some plants and a small structure in the background.

A modern building with large windows and a sign that says 'SU-A'.

◆ 川内すわこども園

(幼保連携型) 鹿児島県川内市川内町下町
定員180名/児童110名

◆ 川内すわこども園2nd

(幼保連携型) 鹿児島県川内市中央
定員120名/児童110名

◆ すわこども園

(幼保連携型) 鹿児島県川内市川内市比野
定員90名/児童80名

◆ 地域子育て支援センター

2か所
※親子で子育て支援センター「kiss」にて、
地域子育て支援センター「わこ」にて

◆ 療育児保育施設

1か所
鹿児島県鹿児島市「waco」にて

◆ 放課後児童クラブ

3か所
放課後児童クラブ「kiss」にて
放課後児童クラブ「waco」にて
放課後児童クラブ「kiss」にて

◆ コワーキング事業

2か所
コワーキングスペース「kiss」にて
コワーキングスペース「waco」にて

A modern building with large windows and a sign that says 'SU-A'.

社会福祉法人 鹿児島県社会
法人の概要

社会福祉法人 誠福会 の法人の理念

(3つの柱：基本理念)

① 地域社会への貢献

② 児童の健全育成・育児支援

③ 人材育成・専門性の向上



幼保連携型認定こども園 川内すむこども園SECOND

1.園の概要

self-introduction

名称：川内すむこども園SECOND

種別：幼保連携型認定こども園

住所：鹿児島県薩摩川内市

定員：125名

(1号35名、2号45名、3号45名)

職員：135名

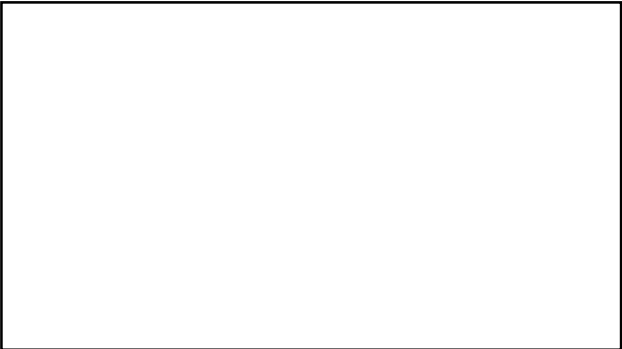
職員：48名

HP：<https://www.sendaikawa.com/2nd/>

Instagram：<https://www.instagram.com/?hl=ja>



ホームページInstagram







まち探検

地域のさまざまな場所を調べたり利用したりする活動を通して、自分たちの生活は身近なるさまざまな人や場所と関わっていることを知る



バイキング給食について

(ねらい)

- 1.選択する楽しさと選択方法を学ぶ
(自分の食事の量や食品の組み合わせを考えて食べる)
- 2.身体に必要な栄養の組み合わせを学ぶ
- 3.食事環境の工夫をし、楽しく食べることを身につける
- 4.食事マナーを身につけ、友達を思いやる心を養う
- 5.地域との交流を図り、会食しながら社交性を養う



OUR “保育”



1.子どもが主体であること

保育者がさえる保育ではなく、子どもたちが自身が主体的で自発的な活動が心ゆくまでできるように環境を工夫し、毎日の保育を通して、子どもの自己主張する力・コミュニケーション力を高めていく工夫がこらされています。

2.遊びと生活が中心


子どもたちが園生活の中で自分のやりたいことを見つけ、主体的に取り組むことができるように工夫します。
様々なあり方やプロジェクトを通して、自主性や主体性、友だちとの協同性、社会性などを身に付けていきます。

3.Before & After

子どもの姿のビフォーアフター、保育者の関わり方のビフォーアフター、園全体の質の向上のためのビフォーアフター等を繰り返し行っていくことで、常に“変化”を美しもうるであらいたいと思っています。

川内すわこども園SECOND

SEARCH



4. 職員研修について



2024公開保育&講師・実践発表

5/27大友生田先生とのキックオフミーティング講師
6/13 まつやま保育園（茨城県）園内研修講師
6/19協賛福祉会（岩手県）園内研修講師
7/2かほろ保育園（山梨）園内研修講師
7/30スマートエデュケーション公開保育研修
31パネリスト（大友生田先生）
9/5～6全国私立保育園連盟青年会議所大会
第7分科会講師
9/11全国私立保育園連盟広報部公開保育
9/15全国私立保育園連盟幹部セミナー（広島市）
9/21全国認定こども園協会九州大会公開保育
9/27時設計園見学ツアー講師（諏訪福祉会）
10/11埼玉県立協賛保育園部会研修講師
10/18れいめい高校未来探索セミナー講師
10/24園見学・公開保育（宮崎県都城市）
10/29茨城県保育園協会青年部DX研修会講師
11/7宮崎市、鹿児島市青年部公開保育&研修会講師
11/26水戸市青年部保育実践研究会講師
11/28広島市青年部公開保育&研修会講師
12/16福岡市保育園協会セミナー講師
12/18川内高校Progressive可畏山セミナー講師
1/23～全国私立保育園連盟保育部研究大会（第6分科会講師）
2/3 熊本県より研修
2/5 全国認定こども園協会鹿児島支部施設長・保育者研修会講師
2/7 協賛福祉会園内研修講師
2/9 給食地区連携福祉会法人全体研修講師
2/13 志布志地区視察研修
2/17 時設計より4園視察研修



公開保育「幼保の垣根を超えた公開保育研修会」～地域に開かれた園づくり～

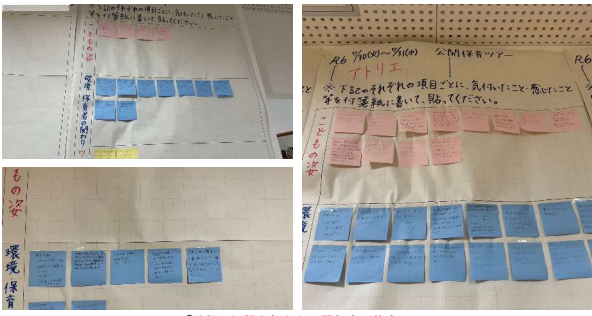
- ・近年、社会的にも幼児教育の重要性が認識され、それにふさわしい内容で幼児期における教育・保育を行っていくことが求められます。本園では、保育の質の向上のために、公開保育や研究保育を組織的、継続的に行之、その都度保育の評価・改善を図っていく必要があると考えています。
- ・今回は幼保の垣根を超えた公開保育ツアーと題し、施設の種別関係なく「保育をもっとよくなりたい」「もっとおもしろいことをしたい!」という保育者が集まり、保育について語り合うことで、それぞれの保育の質の向上に資することを目的に本研修会を行います。



「幼保の垣根を超えた公開保育研修会」



「幼保の垣根を超えた公開保育研修会」



「幼保の垣根を超えた公開保育研修会」



「幼保の垣根を超えた公開保育研修会」

公開保育「認定こども園協会九州地区活性化研修会」

- ・近年、社会的にも幼児教育の重要性が認識され、それにふさわしい内容で幼児期における教育・保育を行っていくことが求められます。本園では、保育の質の向上のために、公開保育や研究保育を組織的、継続的に行之、その都度保育の評価・改善を図っていく必要があると考えています。
- ・今回は幼保の垣根を超えた公開保育ツアーと題し、施設の種別関係なく「保育をもっとよくなりたい」「もっとおもしろいことをしたい!」という保育者が集まり、保育について語り合うことで、それぞれの保育の質の向上に資することを目的に本研修会を行います。



「認定こども園協会九州地区活性化研修会」



「認定こども園協会九州地区活性化研修会」

4. 入園に関する事項（重要事項説明）

26 職員研修について（OJT,OFF-JT）

（2）職員「学びの日」

毎月第2土曜日を主として「学びの日」として設定し、職員の園内研修を推進しています。保育の質向上のために、この日は全職員が参加して学びの機会としたいと考えております。保護者のみなさまにおかれましては、大変おかしことと存じますが「学びの日」につきまして、家庭が保育や施設が保育に協力をお願いします。お仕事の方、都合のある方はもちろん遠慮なく保育を利用してください。



職員学びの日、初任研修「保育っておもしろい」



学びの日「行事やイベントについての考え方」

学びの日「ビフォーアフター」

初任研修「保育っておもしろい」

初任研修「保育っておもしろい」

学びの日「子どもの主体性について」

学びの日「子どもがやりたい！とおもえる環境」


学びの日「働き方について」

学びの日「保護者対応について」

- ・ 保育の質の向上のために
- ・ 保育をもっと学ぶために
- ・ 職員同士が交流するために



5. 保育参加について



保育の社会化について

- ・ インターンシップ
- ・ 高校生、中学生サマーボランティア
- ・ 高校生アルバイト
- ・ 保護者、地域の親子等

保育者体験の目的

- 1 体験を通して子育ての楽しさを知る。
- 2 こども園とのかかわりや子どもに対する相互理解を深める。
- 3 保育士・保育教諭の資質向上の機会とする。
- 4 保育に関わることで、集団の中でわが子を客観的にみる。
- 5 こども園と保護者との信頼関係を深める。

休園日、行事前、行事を除く年度内のいつでも可能

【一日コース】午前9時から午後4時まで

【半日コース】午前9時から午後2時まで



保育者体験

保育者体験の目的

- 1 体験を通して子育ての楽しさを知る。
- 2 こども園とのかかわりや子どもに対する相互理解を深める。
- 3 保育士・保育教諭の資質向上の機会とする。
- 4 保育に関わることで、集団の中でわが子を客観的にみる。
- 5 こども園と保護者との信頼関係を深める。

休園日、行事前、行事を除く年度内のいつでも可能

【一日コース】午前9時から午後4時まで

【半日コース】午前9時から午後2時まで



「保育参加」の目的

1 体験を通して子育ての楽しさを知る。

2 こども園とのかかわりや子どもに対する相互理解を深める。

3 保育士・保育教諭の資質向上の機会とする。

4 保育に関わることで、集団の中でわが子を客観的にみる。

5 こども園と保護者との信頼関係を深める。

「保育参加」の目的

・全クラスで行う。

ひよこ組(0歳児)

りす組(1歳児)

ぱんだ組(2歳児)

うさぎ組(3歳児)

こあら組(4歳児)

きりん組(5歳児)



「保育参加」のコース

休園日、行事前、行事を除く年度内のいつでも可能


【一日コース】午前9時から午後4時まで

【半日コース】午前9時から午後2時まで

・1号認定子どもは半日コースをご利用ください。

・2、3号認定子どもはできれば一日コースをご利用ください。半日コースを希望される場合は当日ご相談ください。

7. 来年度の教育・保育に向けて



来年度に向けて～園の評価～

・遊びの環境のさらなる充実を

・保育におけるICTの活用について

・小学校との接続について

・アクティブラーニング・プロジェクト活動

・放課後児童健全育成事業（児童クラブ）の設立に向けて

・地域子育て支援拠点事業の設立に向けて

ぱんだ組～きりん組お道具箱

・クレヨン1600円

・サインペン1200円

・はさみ400円

・のり300円

・油粘土500円

・粘土ペラ300円

・粘土板400円

・絵具1200円

・筆(3本セット)300円

・鉛筆120円

園負担6,000円

個人負担4,000円

(毎年4月に購入)



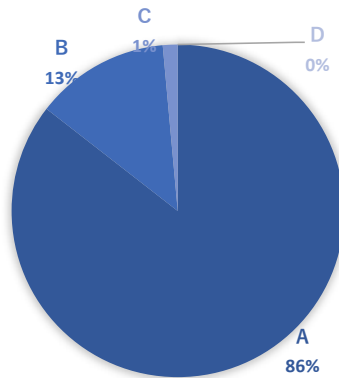
川内すわこども園SECOND 令和6年度 学校評価アンケート

令和 7年 3月 5日 (水)
川内すわこども園学校評価委員会

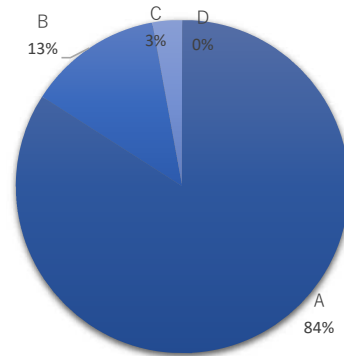
A よくあてはまる	B ややあてはまる
C あまりあてはまらない	D まったくあてはまらない (無回答あり)

1 園の教育・保育方針について

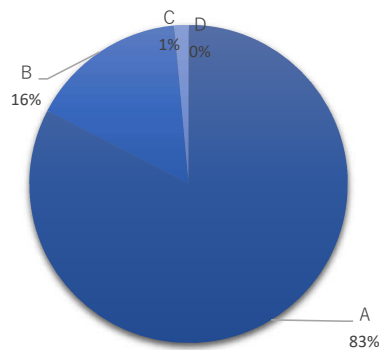
1-1園の運営や方針に満足している



1-2園の教育・保育方針をわかりやすく伝え
ている

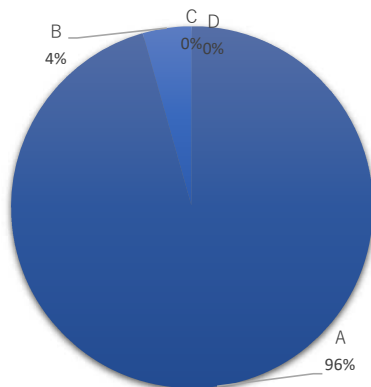


1-3教育・保育方針に共感できる

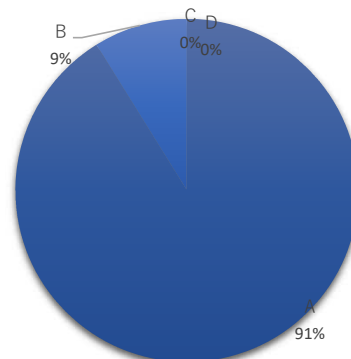


2 保育の内容について

2-1子どもにとって、楽しい、面白い場所だと思う

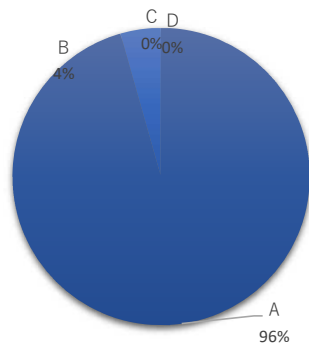


2-2温かい雰囲気保育に努め、子どもの育ち
の姿が知らされている

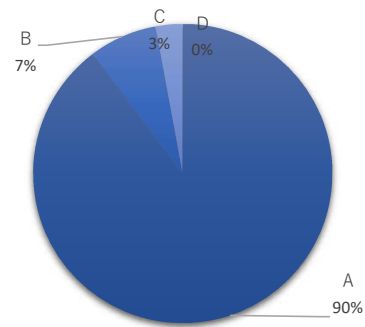


2 保育内容について

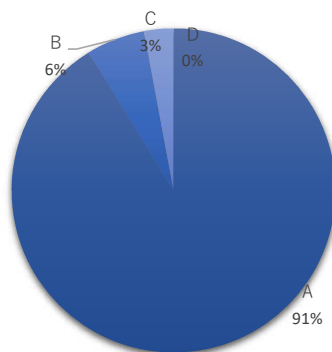
2-3園の雰囲気がよく、子どもが生き生きとしている



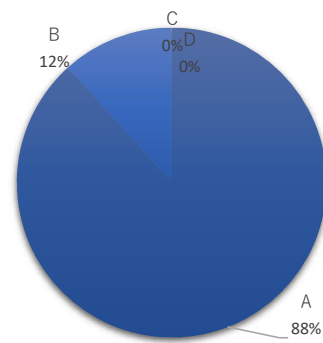
2-4成長に必要な行事があり、子どもが楽しんで行事に取り組んでいる



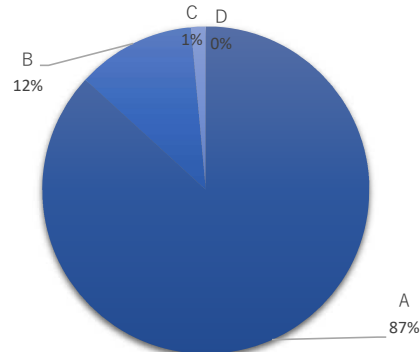
2-5外遊びやリズム遊びが十分に行われ、体力をつける工夫がされている



2-6豊かな心を持った子どもを育てようとしている

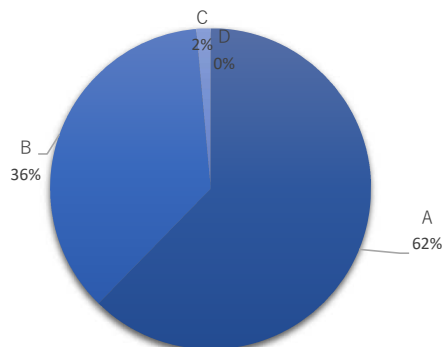


2-7子どもは園での生活を喜び、楽しんで通っている

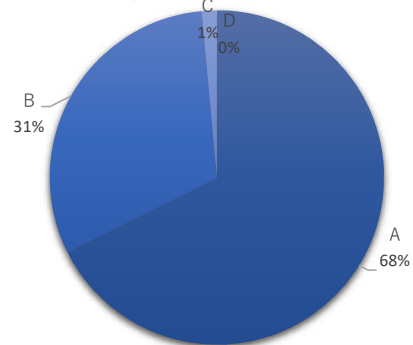


3 心の育ちについて

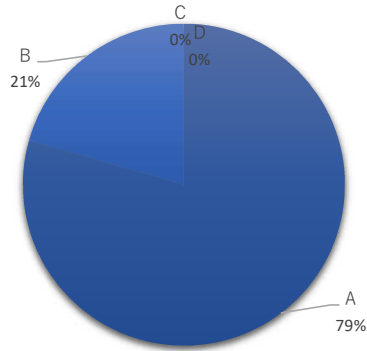
3-1社会生活におけるモラルやルールを守る態度を育てようとしている



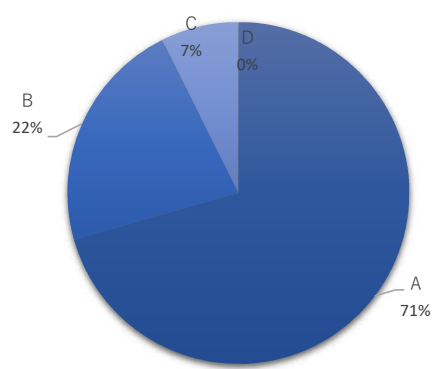
3-2人権を尊重する意識を育てようとしている



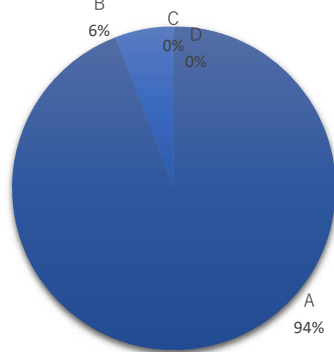
3-3友だちと仲良くする思いやりの心を育てようとする



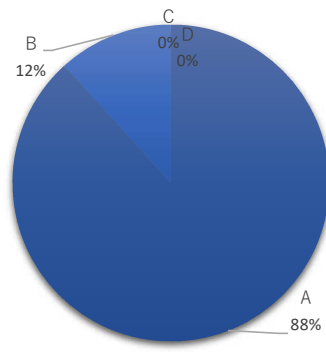
3-4子どもが生き物と植物を大切にしようとする心を育てている



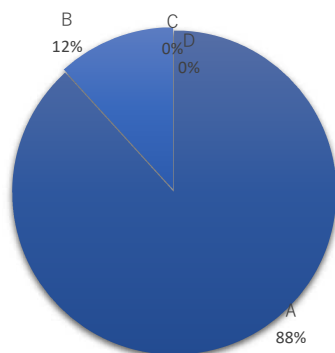
4-1子どもに温かい言葉かけや優しい態度で接している



4-2子どもに意欲や自信を持てるような言葉かけや態度で接している

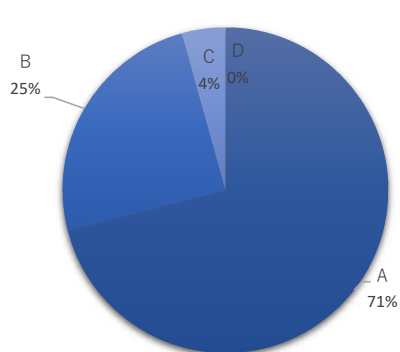


4-3常に子どもの目線に立って、わかるような声かけをしている

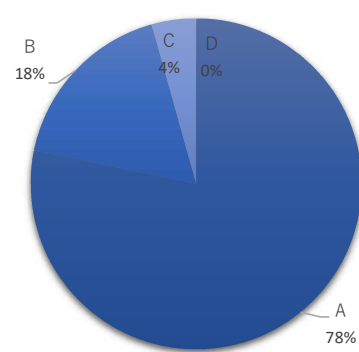


5 安全対策・事故防止について

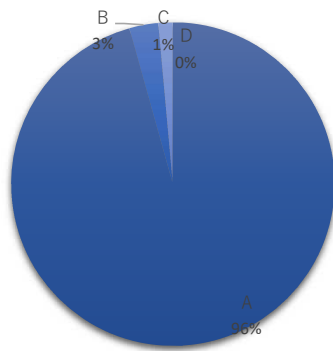
5-1遊具、園での事故防止に積極的に取り組んでいる



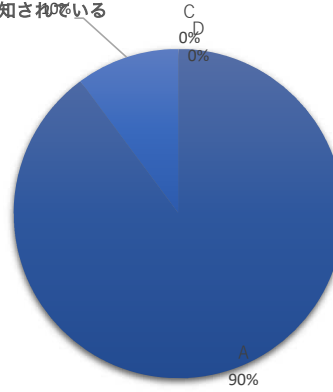
5-2子どもが安心して過ごせるような衛生的な環境である



5-3地震、火災、水害、不審者等の訓練や対策を講じている

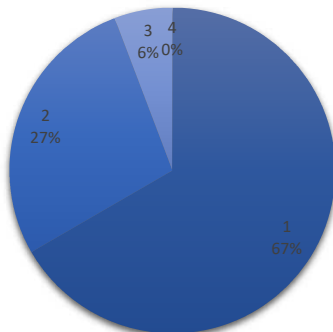


5-4警報発令時の対応について、保護者に周知されている

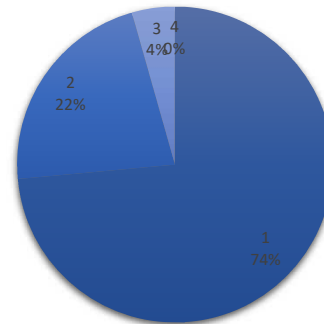


6 感染症対策・感染防止について

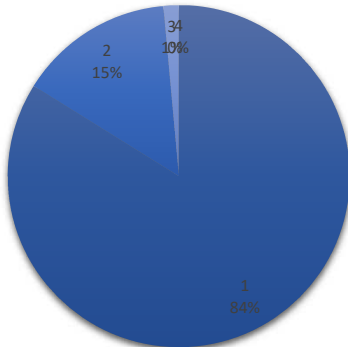
6-1感染症の感染防止に積極的に取り組んでいる。



6-2子どもが安心して過ごせるような衛生的な環境である

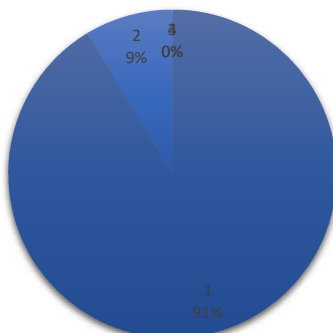


6-3感染症に関する連絡や情報が周知されている。

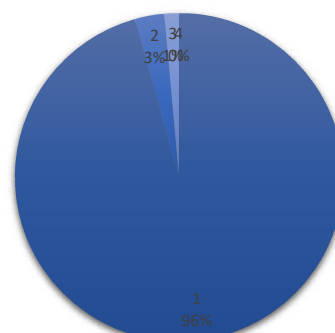


7 食事について

7-1子どもが楽しく食事できる環境づくりに努めている

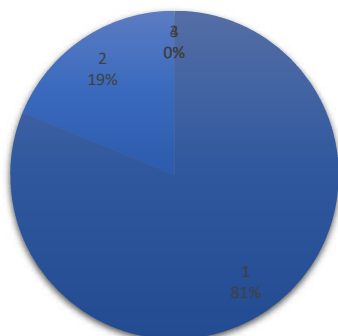


7-2献立表等で給食状況をわかりやすく伝えている

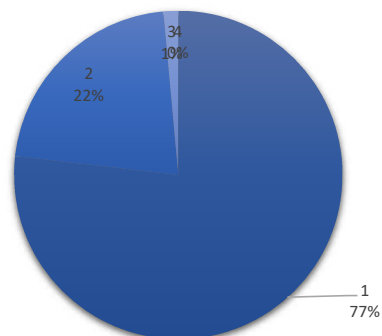


8 職員のサービスについて

8-1 職務にふさわしい節度ある行動、態度がとれている

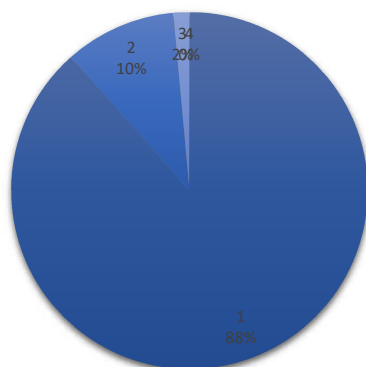


8-2 園の職員としてまとまりがあり、情報の共有ができている

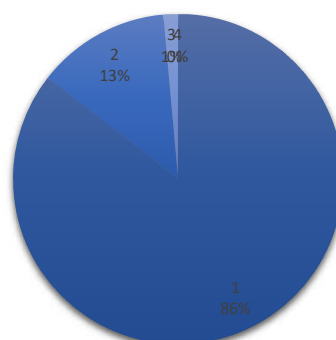


9 文書連絡、情報発信について

9-1 保護者に出す文書・事務連絡等は適切である

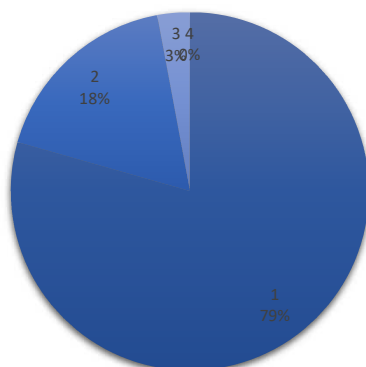


9-2 園だより『小さな太陽』に満足している

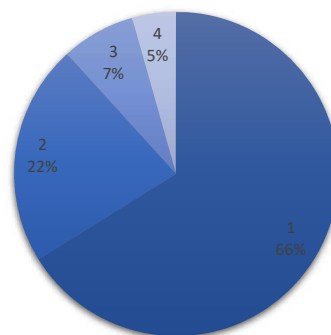


9 文書連絡、情報発信について

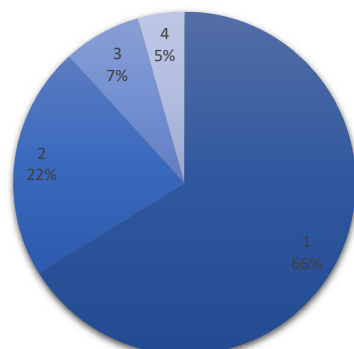
9-3 ホームページでよく情報を発信している



9-4 こども園アプリ『コドモン』は使いやすい

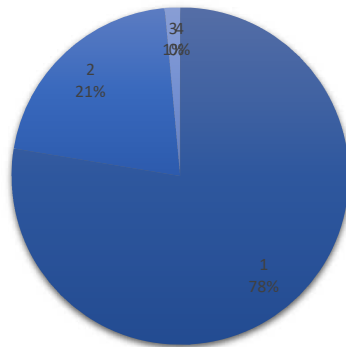


9-5 園のInsutagramをよく見ている

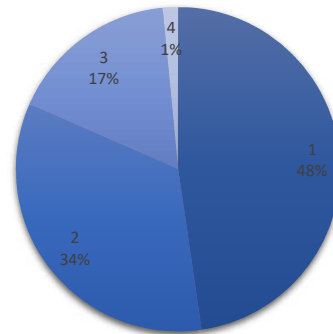


10 保護者、家庭との連携について

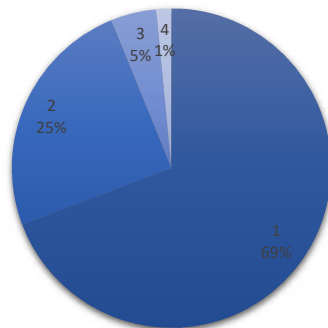
10-1保護者と話す機会を多く持っている



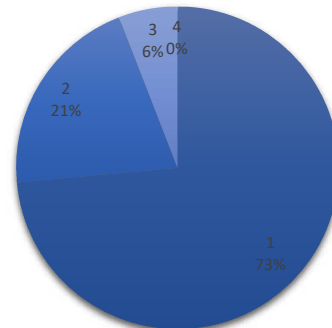
10-2保護者会活動は活発である



10-3地域に向けて、積極的に情報を発信している

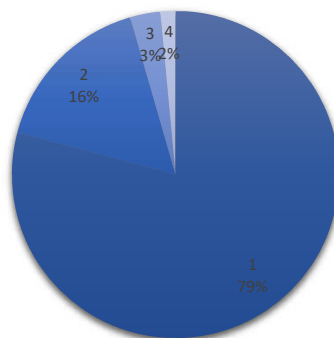


10-4保育参加は良い取り組みだと思う



11 子育て支援について

11-1子育て支援に積極的に取り組んでいる



12.その他

きりん

- ・子どもを安心して預けられる園で本当に感謝。
- ・フェスタが第2土曜と被らないようにしてほしい。小学生の迎えが必要になる。
- ・子どもたちが楽しく園へ通えているのは先生方のおかげ。
- ・学童の設立を強く希望する。
- ・就学前の必要な知識、経験等をつけられる指導を増やしてほしい。
- ・感染症が発生した際は一時的にクラス活動へ切り替えるのはどうか？
- ・園の方針が強く示されているのは理解するが、保護者、家庭の意向に寄り添った形にはなっていない為本アンケート含め意見を募る意味合いの説明や目的を示してもらえると良い。

こあら

- ・先生方が良いところを褒めてくれ、改善するところも丁寧に教えてくださり、相談も親身になって聞いてくれてありがたい。自分で考えて行動する力が大きく成長した1年。
- ・イベントの日程やプログラムを1週間前～5日前にはもらえると有難い。
- ・園外へボールが飛んでいく事が気になる。
- ・園庭遊びが大好きな様子で、写真を見ても楽しく過ごしていることが伝わる。嬉しい。
- ・イベントが第2土曜と被らないようにしてほしい。小学生の迎えが必要になる。
- ・保育参加を他の形でしてほしい。
- ・音楽の祭典を年長だけでも直接見たい。
- ・フェスタの終了時間をもう少し早めてほしい。

うさぎ

- ・ハロウィンの親の仮装は負担が大きい。子どものみ。またはハロウィンなし。
- ・いつも子どもだけでなく保護者にも寄り添って柔軟な対応をしてもらっていることに感謝。

親子共々恵まれた環境だなあと感じる。

- ・いつも保育ありがとうございます。子どもたちはこども園が休みだと残念そうにしている。日々充実しているんだなあと感じる。子どもたちの『やりたい！』気持ちに協力してくれていて毎年レベルアップ！
- ・こども園が安心できる場所になっていると思う。是非！学童も！

ぱんだ

- ・進級してからいるもの、いないものが2月中に分かると有難い。
- ・学童も楽しみにしています。

りす

- ・家ではできないような経験や関わりをさせてもらえて感謝。
- ・感染症が出たら配信してくれるのが共有できて助かる。
- ・昨年度に引き続き、子どもも楽しく過ごせていて、安心して預けられる。

ひよこ

- ・子どもたちがいきいきしている環境が良い。
- ・楽しく通えているのは先生方のおかげ。子どものことをよく見て対応してくれて有難い。
- ・我が子のように心配したり、かわいがったり、抱っこしたりして「また明日ね！」と声掛けしてくれる先生方ばかりで安心して預けられる。